

Title	リゾートビジネスの再生モデル分析 - スキー場再生のKSFの抽出 -
Sub Title	
Author	矢吹, 重雄(Yabuki, Shigeo) 中村, 洋
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2092号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2092

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	中村洋研究会	学籍番号	80430954	氏名	矢吹 重雄
(論文題名) リゾートビジネスの再生モデル分析 ～スキー場再生の KSF の抽出～					
(内容の要旨) <p>近年、スキー場の閉鎖に関するニュースが後を絶たない。その背景には、スキー人口の大幅な減少がある。多くのスキー場は入場者数の不足による収益の悪化に苦しんでいる。一方、急速に「元氣」になっているスキー場がある。その違いはなんだろうか？そして、どのようなスキー場が勝ち残ることができるのだろうか？本研究は、上記問題意識を背景として成功事例研究を行ったものである。その目的は、1. スキー場経営における KSF を抽出、2. 過剰供給状況における競争戦略及び成長戦略の提言である。</p> <p>事例研究は 01 年から 04 年のスキー場入場者数の増減率に基づき成功事例をサンプルとし、インタビュー及び独自調査により重要と思われる要素を抽出、KSF とした。その結果、成功事例の KSF は以下の 3 点であった。1. エリア内における専門性の高いスキー場、2. エリア内の HUB 的役割をもつスキー場、3. ステークホルダの整理と戦略の明確化と実施できるスキー場。</p> <p>これらのことから、スキー場の勝ち残り戦略にはエリア戦略が重要といえる。具体的には、「1. エリア内のハブとしての機能を充実させる」、「2. エリア内での役割を明確にする」ことが重要であり、またそれを実施するために必要な要件として、「3. 所有と運営の分離などによる運営の一本化」を行うべきである。エリア戦略の有効性については、各スキー場を代理変数により採点し、入場者数の増減率との有意性・因果関係について検証した。結果は有意であり、KSF およびエリア戦略の有効性が確認された。</p> <p>本論文の限界として事例研究から抽出された KSF の普遍性についての検証があげられるものの、具体的な KSF の抽出と戦略の提言は、多くのスキー場関係者にとって具体的な指針を与える数少ない研究の一つである。</p>					